

平成26年度高松市公開事業評価 実施事業に係る検討状況調書

(千円)

事業番号	事業名	担当局 (担当所属)	判定結果	検討方向	今後の進め方 (今後の方針、今後の取組予定)	H26年度当初 予算(事業費)	H27年度当初 予算(事業費)
1	ゆめづくり推進事業	市民政策局 地域政策課	改善継続	改善継続	<p>当該事業は平成23年度から実施していることから、26年度で4年目を迎えるが、地域にとっては、既存の事業に捉われない、地域特有の課題解決に有効な活動財源になっており、地域コミュニティ活動の更なる活性化と、地域コミュニティ協議会の組織基盤の強化につながっていると考えている。</p> <p>判定結果は、「改善継続」であったが、制度自体の改善というよりも、執行上の御意見が多く、26年度の実施予定地域を含めると、26年度末現在の未実施地域は6地域となっていることから、引き続き、未実施団体に対する事業実施の働き掛けを積極的に行うなど、まずは、すべての地域で事業を実施していただけるよう、現行の事業を継続していきたい。</p> <p>なお、事業実施による効果については、把握・検証できる手法を検討する。</p>	24,485	21,211 (-3,274)
2	社会福祉団体活動助成事業	健康福祉局 健康福祉総務課	改善継続	改善継続	<p>高松市社会福祉協議会は、各種社会福祉団体の連絡調整や社会的弱者対策の推進、地域福祉活動の充実など、公益性、公共性の高い事業を実施し、社会福祉の増進に寄与していることから、引き続き本市が財政支援を行うことで、地域福祉の推進と充実を図る。</p> <p>一方、これまでも高松市社会福祉協議会における運営体制の効率的な見直し及び財務体質の強化による経営改善努力の状況等を踏まえ、補助金の削減を実施してきたところであるが、今後も、公開事業評価における意見を踏まえ、さらに法人運営事業(人件費)の補助基準の見直しを実施するとともに、本市の施策目標や変化する市民ニーズに合わせた効果的な事業運営が図られるよう助言を行っていく。</p>	127,530	121,103 (-6,427)
3	在宅高齢者家族支援事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善継続	改善継続	<p>本事業の対象となる介護者がもれなく見舞金を受給できるようにすることが、本事業を継続することの意義であると考えます。</p> <p>金額については、中核市のうち、同様の事業を実施している市の平均支給額は95,000円、県内の市町においては88,000円ではあるが、本市では、現在の支給金額72,000円(月額6,000円)は据え置く。</p> <p>介護の労をねぎらうための事業であれば、対象者全員が受給できるように、という意見もあったことから、今後、本事業の更なる周知啓発のため、介護保険課が要介護認定結果を通知する際に介護見舞金について、わかりやすく記載したチラシを同封することを検討している。また、介護支援専門員や民生委員などの関係者に本事業の更なる周知啓発を行い、介護者に直接、本事業を知らせていただくなど、本事業の対象者に、事業の周知ができるよう努める。</p>	58,752	46,656 (-12,096)
4	農業団体育成事業	創造都市推進局 農林水産課	縮小	縮小	<p>公開事業評価の判定結果を踏まえ、事業費を縮小すべく、各事業内容を精査したが、当事業は農業者等の生産技術の習得、生産拡大及び品質の向上等の効果があり、必要な事業であるため、大幅な縮小は困難であり、平成27年度も前年並みの予算額となっている。</p> <p>今後も、事業成果及び農業振興の低下につながらないように、現在の事業を基本的に維持し、可能な範囲で予算の縮小を検討していきたい。</p> <p>なお、香川町川東校区ふるさと物産まつり地域農産物消費拡大事業については、地域審議会に諮るなど廃止に向けて協議した結果、27年度限りで廃止する。</p>	14,011	13,941 (-70)

平成26年度高松市公開事業評価 実施事業に係る検討状況調書

(千円)

事業番号	事業名	担当局 (担当所属)	判定結果	検討方向	今後の進め方 (今後の方針、今後の取組予定)	H26年度当初 予算 (事業費)	H27年度当初 予算 (事業費)
5	観光イベント 振興事業	創造都市推進局 観光交流課	改善継続 ※総司会者による最終判断	改善継続	判定結果は「改善継続」であるが、縮小すべきとの意見も多くあったことから、他の補助事業とのバランスや本市の財政負担の軽減に配慮しつつ、効果的・効率的に観光振興が図られる支援のあり方について、検討してまいりたい。	34,861	34,477 (-387)
6	住宅建築物耐 震改修等事業	都市整備局 建築指導課	継続	継続	引き続き事業を実施していくが、公開事業評価で、事業の周知に努めるようにとの意見があったことから、危機管理課などと連携しながら、建築物の耐震化の必要性の啓発に努めるとともに、引き続き市ホームページや広報たかまつを活用し、これまで以上に戸別訪問、出張相談を実施するなど、更なる補助金の活用の周知を実施していく。 (補助件数の増加に伴い、前年度より予算が増額となる。)	164,535	331,830 (+167,295)
7	放置自転車等 対策事業	都市整備局 都市計画課	改善継続	改善継続	駐輪場整備や放置自転車等対策により、放置自転車は減少傾向にあり、警告及び撤去件数も減少しているが、未だに、JR高松駅周辺・サンポート高松地区、琴電瓦町駅周辺では放置自転車が見られることから、事業を継続的に実施しているところである。 公開事業評価の判定結果では、拡充、縮小及び廃止については皆無であり、継続(8人)、改善継続(19人)に集中していることから、事業の必要性は認められたと理解している。 「日本一のちゃりんこ便利都市」をめざし、自転車利用を推進している本市では、放置自転車等の対策は重要であり、撤去及び移送は最も効果がある方策であることから、自転車等の適正な利用を一層推進するとともに、今後も現行の施策を継続的に実施する必要がある。 なお、公開事業評価の判定結果と評価者、市民評価者の意見を踏まえ、各鉄道駅の駐輪場整備について、鉄道事業者と協議を進めた結果、27年度は琴電岡本駅に25台の駐輪場を整備する予定である。 また、駐輪場の場所や放置自転車禁止区域の周知・啓発及びモラルの向上面で、より効果が上がるよう、新たに、放置自転車禁止啓発ポスター・ビラを作成し、企業や学校等に配布するとともに、禁止区域内において、自転車を放置しないよう、広報車による呼びかけを行ったほか、入り口付近に放置自転車の多い店舗に、来店客向け店内放送の協力を頂くなど、周知方法を見直した。 さらに、平日の昼間に行っている放置自転車禁止区域の自転車の撤去に加え、放置自転車が多い夕方(18時)及び土曜日に、撤去・移送を行い、効果的な実施に努めた。	40,495	40,286 (-209)
8	コミュニティ センター等講 座事業	教育局 生涯学習セン ター	改善継続	改善継続	改善継続の判定を受け、新たな受講者を増やすため、次のような取組を検討する。 現在、実施している講座のうち、子どもの居場所づくりのための講座を拡充して、新たに学習の要素を取り入れたまなびの場づくり事業として、希望する20のコミュニティセンターに年4回講座の実施を委託する。 生涯学習センターやコミュニティセンターで実施している講座のうち、人気がある講座や講師について、コミセン職員の定期研修会で紹介するとともに、受講者が少なかったり、固定化している講座を中止するよう指針を作成して、講座内容の新陳代謝を図る。 同内容で3年以上連続して実施している講座は、同好会へ移行するよう促す。 コミュニティセンターの自由度を高めるため、必須ジャンルやジャンル毎の義務付け回数を見直す。 (上記「まなびの場づくり事業」の実施に伴い、前年度より予算が増額になる。)	21,216	21,665 (-449)